

皆さんおはようございます。長い雨が続き、少しつらい毎日が続いていますが、今週も頑張っていきましょう。さて、少し前の全校朝会で校長先生は、新型コロナウイルスにうつらないように、距離をあけましょう、でも友だちとの距離は離れても、友達との「心の」距離は離れてはいけません。友だちは今まで通りの友だちです。楽しい話をしたり、遊んだり、いつまでも今まで通りの友だちです。絶対友だちとの心の距離は離れてはいけません、というお話をしました。では、友だちとの心の距離が離れないように、また近づくようにするにはどのようにしたらよいと思いますか。校長先生は、こう思います。それは・・・先週の全校朝会では あいさつは おあしすさ 「あいさつは、おあしすさ」の話をしました。(あ)かるい声で (い)つも (さ)わやかに (つ)づけて (は)っきりと (お)はよう (あ)りがとう (し)つれいします (す)みません (さ)ようなら ですね。この中に、友達から言われてうれしくなることば、自分が友達に言うといい気分になる言葉があります。それは、どのことばでしょうか。わかったかな、そう、ありがとう、です。友達から言われてうれしくなることば、自分が友達に言うといい気分になる言葉、「ありがとう」ほかにどんなことばあるでしょうか。すごいね、おめでとう、だいじょうぶ?、がんばって、などなど、友達を励ます言葉や気にしてあげることばですね、このように、心を温かくする言葉を「あったか言葉」ということにしましょう、このあったか言葉が教室にあふれてくると教室がとてもよい教室になります、そしてみんなの心も温かく、そしてやさしくなってきます。その反対に、言われたくない言葉、自分が友達に言ってもいい気分のしないことばもありますね。その言葉が増えてくるとどうなるでしょう。その子の顔は目がきつくなり、いつも怒っていたり、人を馬鹿にしていたりするような悪い顔つきに代わっていきます。そしてクラスも何となく悪い雰囲気になってしまいます。そうならないためにも、あったか言葉をたくさん使ってお友達を励まし、元気にしてあげ、自分も元気になっていきましょう。あったか言葉で教室をいっぱいにし、うっとうしい梅雨を乗り越えていきましょう。

これで、校長先生のお話を終わります。また、来週!